

新社長登場

New President



新型コロナウイルス影響の中で、就任直後から数カ月はいいさつ回りの

染防止対策を取りながら、少しずつ動き始めている。

い、拠点は本社・第1事業所、第2事業所、東京営業所、従業員は約50人、年間販売量4万弱。

く、一般缶は帰省・贈答需要やインパウンドの減、イベントが少ないことなどの影響を受けているものの、9-10月以降、全体的に需要は多少戻っているという。向かい風の環境だが、品質管理の増員を含め「品質の造り込み」、ハードに続くソフト面の強化に注力する。

を、従業員皆がやりがい

JFE商事ブリキセンター

谷口 充浩氏

（現本社・第1事業所）の

「従業員皆がやりがい

れ、鹿児島県出身。

品質・ソフト面を強化

ままならなかったが、業界としては初めて担当するブリキ製品や自社のことを「しっかり勉強しよう」と気持ちの切り替えた。JFE商事では大阪が長く、厚板やステンレス・特殊鋼の営業経験が豊富。九州支店長を経て着任した。下期に入り「感

る。早く安心してお客さまを多く訪問できるようにしたい」と願う。JFE商事ブリキセンター（本社＝大阪府大東市）は、18号缶・ペール缶・一般缶向けブリキ・ティンフリースチールのレベラー加工・シート販売および金属印刷を行

大型プロジェクトが完了し、本格稼働から1年が経過した。主力設備のクリーンルーム化が整い、国内トップクラスのブリキ加工体制で投資効果を高めていく。「18号缶向けは食油など外食産業とつながりがあり荷動きは芳しくない

を持って取り組んでいく。感染防止対策に伴う勤務シフト変更にも協力、対応してくれた。安全第一で、自発的に意見や改善のできる職場、働きやすく風通しの良い環境づくりに努めたい」と話す。（戸次 達也）

▽谷口充浩（たにぐち みつひろ）氏＝93年立命館大法卒、川鉄商事（現JFE商事）入社。大阪厚板部厚板室長、同第2造船鋼材室長、大阪ステンレス・特殊鋼部ステンレス・特殊鋼板室長を経て、17年九州支店長。20年4月から現職。好きな言葉は「人間万事塞翁が馬」。休日は釣りや登山などアウトドア派。家族は妻と大学生になる一男一女。70年9月30日生まれ、鹿児島県出身。